

教育・子ども若者常任委員会 県内行政調査

1 調査日 令和7年8月18日（月）

2 調査の概要

（1）滋賀短期大学（大津市竜が丘）

滋賀短期大学幼児教育保育学科は、幼児教育保育についての専門知識と技術を身につけ、時代や社会のニーズに応えられる保育者を養成している。

国の「こども未来戦略」にあるように幼児教育保育の質の向上や全ての子育て家庭を対象とした保育の拡充を図るためには、保育人材の確保やその役割等がより一層重要になる一方、依然として保育士の有効求人倍率が全職種の平均を上回る状況や指定保育士養成施設の入学者が減少傾向にあるなど、保育人材確保には課題が見られる。

本委員会では「子ども・子育て環境の整備について」を重点調査項目の1つとしていることから、今後の委員会活動の参考とするため、同大学を訪問し、大学における保育者養成の取組について調査を行った。

また、大学生および教員との県民参画委員会を実施し、保育を担う人材の確保・定着のための取組についての状況や課題等について意見交換を行った。



（2）滋賀大学 大津キャンパス（大津市平津）

滋賀大学教育学部は、1875（明治8）年に設置されて以降、これまでから長きにわたって、優秀な教員を輩出し、滋賀県をはじめ全国各地での教育に貢献している。

近年、臨時的任用教員等が確保できず、実際に学校に配置されている教師の数が、各都道府県・指定都市等の教育委員会が求める教師の数を満たしておらず欠員が生じるなど、教員を取り巻く環境は、厳しい状況にある。

本委員会では「学校における働き方改革について」を重点調査項目の1つとしていることから、今後の委員会活動の参考とするため、同大学を訪問し、大学における教員養成の取組について調査を行った。

また、大学生および教員との県民参画委員会を実施し、教育を担う人材の確保・定着のための取組についての状況や課題等について意見交換を行った。

